

## 品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 真野孝次  
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号

試験名称	コンクリートの圧縮強度及び静弾性係数試験					
依頼者	名称：株式会社**** 所在地：**県**市**町					
試験項目	圧縮強度及び静弾性係数					
供試体	名称：硬化コンクリート 寸法：φ100mm×200mm 記号：** 打設日 <sup>1)</sup> ：****年**月**日 搬入日：****年**月**日 試験材齢 <sup>1)</sup> ：28日 養生 <sup>1)</sup> ：標準水中養生 数量：3体					
	注 <sup>1)</sup> 依頼者提出資料による。					
試験方法	試験は、JIS A 1108（コンクリートの圧縮強度試験方法）及びJIS A 1149（コンクリートの静弾性係数試験方法）に従って行った。 載荷は、3000kN 圧縮試験機を用いて行った。縦ひずみの測定は、載荷時にコンプレッソメータ（標点距離；100mm）を供試体に取り付け、デジタルひずみ測定器を用いて行った。圧縮強度及び静弾性係数試験状況の一例を写真1に示す。					
試験結果	試験項目	供試体番号	供試体の寸法 (mm)		最大荷重 (kN)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )
	圧縮強度	1	**.*	**.*	**.*	**.*
		2	**.*	**.*	**.*	**.*
		3	**.*	**.*	**.*	**.*
		平均	**.*	**.*	**.*	**.*
	試験項目	供試体番号	最大荷重の1/3に相当する応力:S <sub>1</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	縦ひずみ 50×10 <sup>-6</sup> のときの応力:S <sub>2</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	応力 S <sub>1</sub> によって生じる縦ひずみ (×10 <sup>-6</sup> )	静弾性係数 (kN/mm <sup>2</sup> )
	静弾性係数	1	**.*	**.*	**.*	**.*
		2	**.*	**.*	**.*	**.*
		3	**.*	**.*	**.*	**.*
		平均	**.*	**.*	**.*	**.*
[備考] 圧縮強度及び静弾性係数試験後の供試体状況を写真2に、圧縮応力度－縦ひずみ曲線を図1に示す。						
試験期間	****年**月**日					
担当者	材料グループ 統括リーダー **** **** (主担当)					
試験場所	中央試験所 (埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号)					

写真1 圧縮強度及び静弾性係数試験状況

写真2 試験後の供試体状況

図1 圧縮応力度－縦ひずみ曲線

以上